

2005年日本国際博覧会

愛知県出展参加基本計画



平成 14年 2月

はじめに

愛知県は、平成12年6月に、2005年日本国際博覧会（愛知万博）への本県の出展参加の骨格である「愛知県出展参加基本構想」を策定し、出展参加のテーマを『「チャレンジ」～人に自然にやさしい、エコ・コミュニティの実現～』としました。

このたび、策定した「愛知県出展参加基本計画」は、本県の出展参加の基本的な方向を示すものであり、先に策定した基本構想を踏まえ、地域の各界各層の代表者及び有識者の21名を構成員とする「愛知県出展参加懇談会」において検討するとともに、県民の皆様からの意見も参考にしつつ、平成13年10月に就任いただいた愛知県パビリオン総合プロデューサーの山根一眞氏と空間アドバイザーの北川原温氏の両氏の指導のもと、とりまとめたものです。

本県が出展する県パビリオンは、愛知万博の開催地元としては、とりわけ重要な役割を担っております。それは、ホスト県である愛知の知名度を高めるシンボル拠点であるとともに、地域と連携したこのパビリオンでの取組が、そのまま世界に貢献する愛知の姿勢を情報発信することになること、そして、さらには、将来の地域づくりにつながる「未来へのかけ橋」としての役割を担っていることなどです。

今後は、この基本計画で示された展示の方向やパビリオン建築の方針などを踏まえ、内容の具体化を進める基本設計や実施設計を行い、平成15年度には展示の製作やパビリオン建設の工事に着手し、平成17年3月25日の愛知万博の開幕を迎える計画で出展事業を推進してまいります。

最後になりましたが、この基本計画の策定に当たり、熱心にご検討いただきました「愛知県出展参加懇談会」の委員の皆様、ご指導をいただいた山根一眞県パビリオン総合プロデューサー、北川原温空間アドバイザー、及びご協力いただいた多くの関係者の方々に心からお礼申し上げます。

平成14年2月

愛知県知事 **神田真秋**

目 次

2005 年日本国際博覧会の計画概要	1
愛知県出展参加の基本的考え方	2
愛知県出展参加のあり方	3
地域プログラム(県民参加計画)	5
海上地区愛知県パビリオン	7
青少年公園地区愛知県パビリオン	1 1
行・催事計画	1 5
広報・運営計画	1 7
事業全体スケジュール	1 8

2005 年日本国際博覧会の計画概要

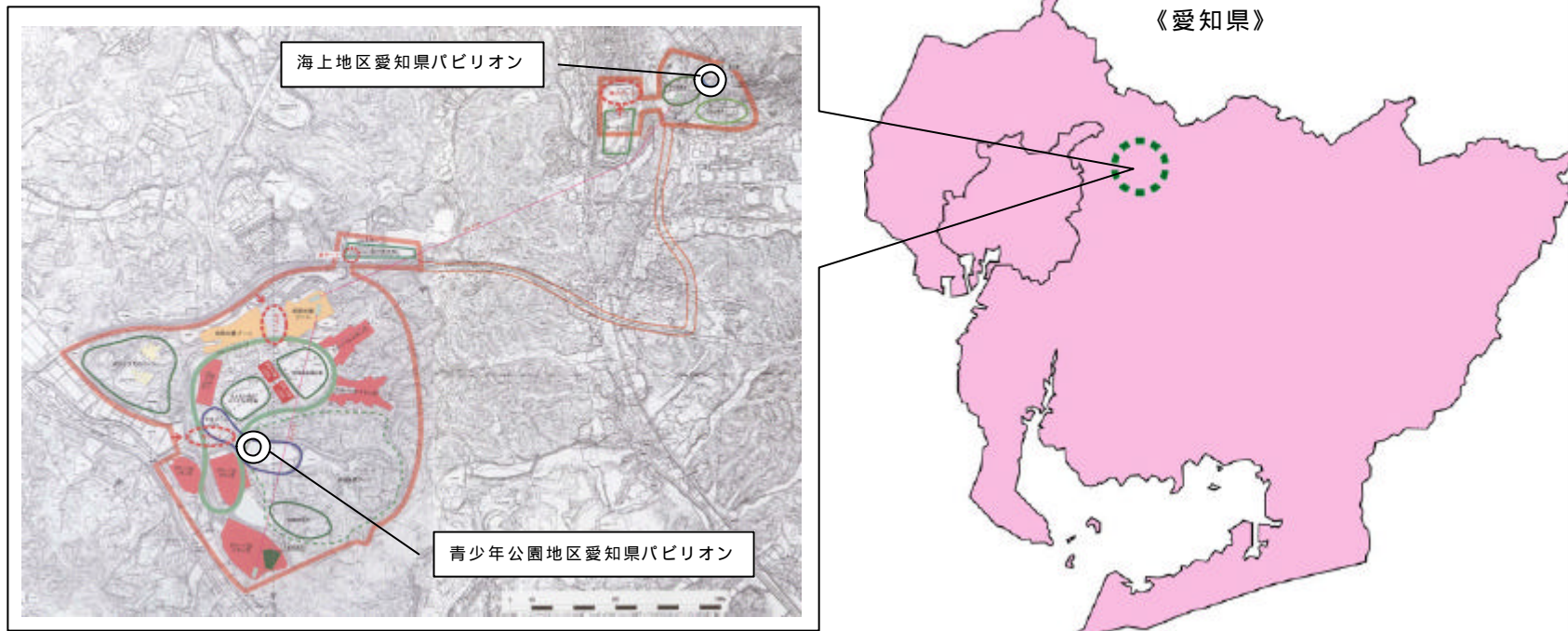
愛知万博は、人類が直面する課題の解決の方向性と人類の生き方を発信するため、「国際博覧会に関する条約」に基づく登録を受けて開催されます。多数の国々の参加のもと、地球時代の新たな国際貢献として日本が主導的な役割を果たすことにより、「自然の叡智」をテーマとした新しい文化・文明の創造を目指すものです。

1 博覧会のテーマ

「自然の叡智」

“宇宙、生命と情報 (Nature 's Matrix)” “人生の“わざ”と智恵 (Art of Life)” “循環型社会 (Development for Eco-communities)”

2 会場ゾーン及び愛知県パビリオンの位置



愛知県出展参加の基本的考え方

愛知県は、開催地元として愛知万博に出展参加するにあたり、平成12年6月に愛知県出展参加基本構想を策定し、「出展参加でめざすもの」「出展参加のテーマ」「テーマ展開の視点」を示しました。

1 出展参加でめざすもの

愛知県は、愛知万博の場を愛知の地域づくりにつなげていく「未来へのかけ橋」として位置づけ、愛知万博への出展参加を通じて、次の3点をめざします。

21世紀の地域づくりのモデルとしての『エコ・コミュニティ』を提案

主体的な県民参加で県民一人ひとりがつくる愛知万博

時代に先駆けた提案により、国際社会における愛知をアピール

2 出展参加のテーマ

「チャレンジ」～人に自然にやさしい、エコ・コミュニティの実現～

今日世界が直面する課題に対して、地域の視点から解決をめざす「エコ・コミュニティ」を提案します。

県民一人ひとりが地球規模の課題を身近に地域社会において考え、解決の道を探ることによって、全県民が国際的な視野で社会に貢献する地球市民へと成長することにつながります。この出展参加を通じて国際社会への貢献をめざす愛知の取組を世界にアピールします。

3 テーマ展開の視点

このテーマに基づき、愛知県の有する資産を最大限に活用するために、さらには、万博終了後の県の地域づくりに出展参加の成果を活かすために、4つの視点からテーマを展開します。

「人・ひと」～ネットワークからムーブメントへ～

「産業と技術」～モノづくりの知恵～

「生活と文化」～隠された共生の知恵～

「自然と人間」～生き物としての人間～

愛知県出展参加のお方

1 愛知県パビリオンの構造について

愛知万博は、人類に課せられた未曾有の大課題「環境」を世界の人々とともに考える、21世紀最初の大規模な国際博覧会です。愛知県パビリオンは開催地の主役として、世界に向けてはつらつたる思想、計画をもって、この課題に取り組みます。

環境問題は、きわめて多くの面を持ちますが、そのどの断面にも「20世紀型文明のありよう」と「より望ましい環境時代のありよう」との軋轢が渦巻いています。地域開発と自然保護、経済発展と資源の浪費、大量生産と大量廃棄。その軋轢に対する望ましい解決の道が見えないために、私たちは、時に絶望すら味わってきました。愛知万博がこれまで直面してきた混迷には、そういう世界共通の深い課題がもたらした面もあります。

そこで、県パビリオンは、新たな環境時代の実現の道に立ちはだかる「文明と自然」という対立原理を出展の柱とすることとしました。きれいごとに終始しがちだった博覧会ではない新たな道を目指します。「文明と自然」という対立原理を明らかにしながら、望ましい未来の構築への道を、世界の人々と考える舞台として創造します。

その舞台として、次の3つの具体的な展開を計画しています。

- (1) **エコ・コミュニティへの挑戦** [ECO-COMMUNITY : A DREAM COMES TRUE]
- (2) **森の鼓動と呼吸** [DISCOVERING THE FOREST'S LIFE CYCLES]
- (3) **環業革命への力** [ECO-INDUSTRIAL REVOLUTION]

地球環境の象徴である野生生物への深い理解を持ちながら、新しいモノづくりの産業革命 = 環業革命の設計図を描きます。同時に、愛知万博に向けて愛知県民自身が様々な試みを行います。

しかしながら、国際博覧会には、エンターテインメント性も強く求められています。かつての博覧会では実現したことのない質の高い演出によって、驚きと発見に満ちた「人気ナンバー・ワン パビリオン」を目指します。

「環境は暗いというイメージはまったく間違っていた」「これは新しい時代へのエネルギー源だ」ということを来館者は実感するでしょう。

2 愛知県出展参加の3つの柱

愛知県は、愛知万博の海上地区と青少年公園地区の両会場にそれぞれパビリオンを出展します。
この2つのパビリオンとそれを支える地域プログラムの合わせて3つを柱として構成します。

(1) 地域プログラム ---県民参加活動の積極的展開

(テーマ展開) **エコ・コミュニティへの挑戦** [ECO-COMMUNITY: A DREAM COMES TRUE]

県民が取り組むエコ・コミュニティ創造への挑戦を、博覧会を契機に活性化させると同時に、その挑戦する姿を県パビリオンの展示や催事などに活かします。

(2) 海上地区愛知県パビリオン ---かつてない自然発見の場

(テーマ展開) **森の鼓動と呼吸** [DISCOVERING THE FOREST'S LIFE CYCLES]

海上の森というささやかなこの森を、かつてない「自然発見の場」として捉え直すことは、人類がこれから持続可能な社会を構築していく上で、必要不可欠な視座となります。この森のあらゆる鼓動と呼吸を知り、人と自然の関わりを来館者に考えてもらうきっかけとします。

(3) 青少年公園地区愛知県パビリオン ---環境問題解決の新産業設計図

(テーマ展開) **環業革命への力** [ECO-INDUSTRIAL REVOLUTION]

日本の産業技術の中核地域として、愛知のモノづくりには、先人たちの英知と情熱が脈打っています。その英知や情熱が、持続可能な社会構築のための「環業革命」(環境による産業革命)への起動力となることを狙いとします。

望ましい環境の時代を切り開くために、いかなるモノづくり産業を興すべきか、驚きをもって来館者に投げかけます。

地域プログラム(県民参加計画)

(テーマ展開)

エコ・コミュニティへの挑戦 [ECO-COMMUNITY : A DREAM COMES TRUE]

1 エコ・コミュニティ ムーブメントの展開

エコ・コミュニティ ムーブメントは、県民が環境時代ならではの環境保全や循環型社会づくりの担い手として主体的に参加し、環境時代の先進的な地域づくりを進めることです。その取組の成果は、愛知万博で活かします。

県出展事業の場で形づくられた県民参加の仕組みは、博覧会を契機に地域に根づかせ、博覧会後もより望ましいエコ・コミュニティづくりに引き継がれます。



2 県パビリオンにおける県民参加

(1) 考え方

県民を、個人としての生活者のみならず、団体、企業、市町村など行政機関をも含めたものとしてとらえます。

県出展事業への県民参加は、県パビリオンづくりや行・催事の計画段階から開催段階に至る様々な場面で行っていきます。また、県民によるエコ・コミュニティムーブメントの取組を県パビリオンで活かしていきます。

(2) 基本方針

県出展の計画段階から準備段階、製作段階、開催段階に至るまで、県民が参加する仕組みづくりなどに取り組みます。

県パビリオンの展示や行・催事など出展参加の内容の具体化に当たり、さまざまな県民の連携・共創による参加が実現できるよう取り組みます。

県内各地域で県民と直接の意見交換を行うワークショップや、インターネット等の情報媒体の活用など、展示や催事に活かす仕組みを構築し、県民の声を県のパビリオンづくりに反映します。

(3) 県民参加の方向性

県民参加については、大きく4つの方向性で検討、計画します。

実施までの準備段階

県パビリオンの建築、展示、行・催事、運営その他にかかわる準備の段階から、県民の参加を図ります。

建築・展示

県パビリオンの建築素材の提供や展示物の提供、製作等への活動協力など

行・催事

行・催事への出演や出演者のとりまとめ、装置・衣装の製作・貸与等演出に関する協力など

運営・その他

県パビリオンの展示物の管理、来館者への案内、施設運営補助など